

段差解消折戸

EWBS602型（1150サイズ）
EWBS603型（800サイズ）

製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容にそって正しく取付けてください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分ご説明し、同梱されている取扱説明書と共に必ずお渡しください。

1 安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

取付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では、機器を安全に正しく取付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

表 示	意 味
	この表示は、してはいけない「禁止」の内容を伝えるものです。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容を伝えるものです。

	 注意
 禁止	1階用として設計されております。階上用として使用しないでください。 水漏れを起こすことがあります。
 必ず実行	工事に使う接着剤類は、容器などに記載の注意表示にしたがって正しくお使いください。誤った使い方をすると、健康を損なったり、接着剤又は被着材の思わぬ劣化により水漏れを起こすことがあります。
	洗い場には、必ず主排水溝を別途設けて、ピットが水上となるように1 / 50以上の床勾配をとってください。 ピットは排水に関して補助的な物ですので、主排水が無かったり排水勾配が不十分だと、ピットへの排水流入量が多くなり、浴室外へ水があふれるおそれがあります。
	ピットの取付けは、必ずレベル出しをして傾きのない様に取り付けてください。 ピットに傾きがあると、水漏れの原因となります。
	トラップの指示した部分に確実にシリコンを塗布してください。 塗布に不備があると、水漏れの原因となります。
	排水管をトラップ排水口に接着剤を使って確実に接続してください。 排水管の接続に不備があると、水漏れの原因となります。
	枠取付け開口部は、取付け面の寸法・水平・垂直を正しく調整してください。 寸法・水平・垂直の調整に不備があると、水漏れの原因となります。

⚠ 注意



必ず実行

枠組立てねじで、縦枠と上枠を正しく確実に組み立ててください。

組立に不備があると、水漏れの原因となります。

水密パッキンを、縦枠上部浴室側に正しく確実に貼り付けてください。

貼付けに不備があると、水漏れの原因となります。

ピットの指定した部分に確実にシリコンを塗布してください。

シリコンが途切れたり塗布しない部分があると、縦枠とのシールが不完全となり水漏れの原因となります。

縦枠をピット上に正しくすき間があかない様に、確実に位置決めしてください。

縦枠とピットにすき間があると、水漏れの原因となります。

枠の水平、垂直が保たれるよう建築躯体側を調整してから、枠を固定してください。

水平、垂直が不十分だったり、正しく固定されないと、水漏れの原因となります。

縦枠とピット接合部のシリコンコーキングは、途切れ・塗り忘れの無いよう確実に行ってください。
コーキングに不備があると、水漏れの原因となります。

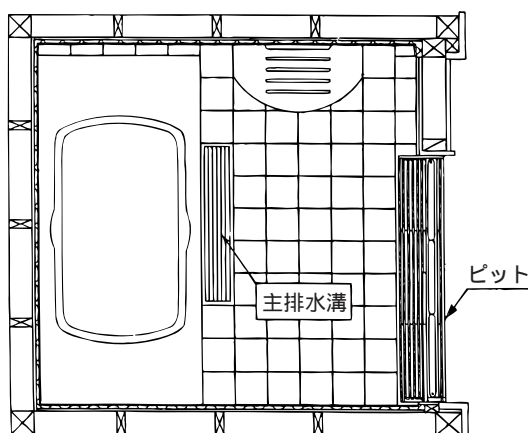
枠、ピット周囲にシリコンを途切れ・塗り忘れの無いよう確実にコーキングしてください。
コーキングに不備があると、水漏れの原因となります。

上下ピボットのストッパー部を、上枠レール・ピットレールに確実にはめてください。
確実にはめないと、折戸や子扉が外れて倒れ、けがをするおそれがあります。

取付工事完了後、折戸や子扉のがたつきなどの不具合がないことをお確かめください。
折戸や子扉が確実に取り付けいていないと、外れてけがをするおそれがあります。

2 施工上の注意

- 製品の取り扱いに際しては、傷をつけたりしないように手袋をご使用ください。
- 製品表面にモルタルなどが付着した場合は、すぐに取り除いてください。
- 脚立などを、グレーチングやピットの上にのせないでください。
- グレーチングは、壁に立てかけると倒れたりして危険ですので、必ず床に置いてください。
- 洗い場には、必ず主排水溝を設けてください。



⚠ 注意



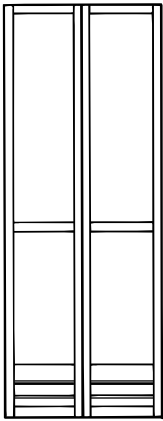
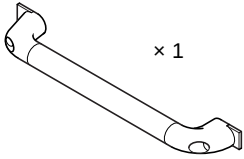
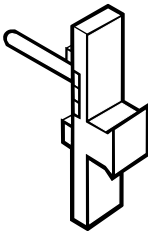
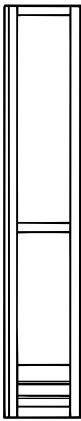
必ず実行

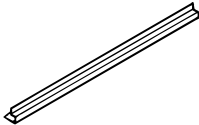
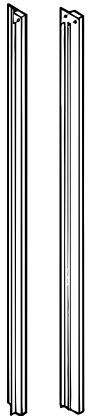
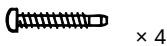
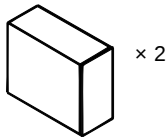
洗い場には、必ず主排水溝を設けて、ピットが水上となるように1 / 50以上の床勾配をとってください。

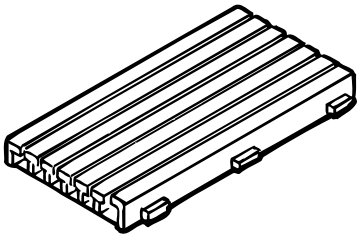
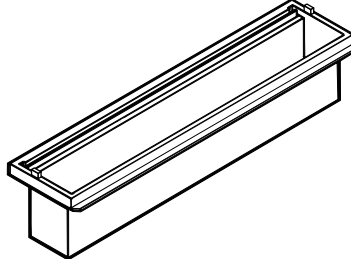
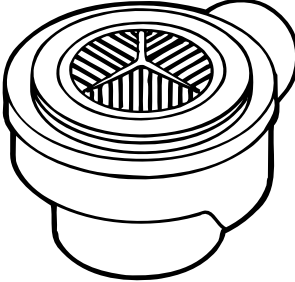
ピットは排水に関して補助的な物ですので、主排水が無かったり排水勾配が不十分だと、ピットへの排水流入量が多くなり、浴室外へ水があふれるおそれがあります。

3 部品の確認

梱包を解き、下表を参照の上、部品（破損の有無、入り数）を確認してください。
 下表中の（ ）はEWBS603型の場合の入り数を示します。

名称	折戸			子扉 (EWBS603型にはありません)
	折戸 1台	引手 1セット	つまみ 2個	
入数	1台	1セット	2個	1(0)台
姿図		 		

名称	枠			
	上枠 1本	縦枠 1組	小袋A 1セット	小袋B 1セット
入数	1本	1組	1セット	1セット
姿図			 	

名称	グレーチング 3(2)枚	ビット	
		ビット 1台	トラップ 1個
入数	3(2)枚	1台	1個
姿図			

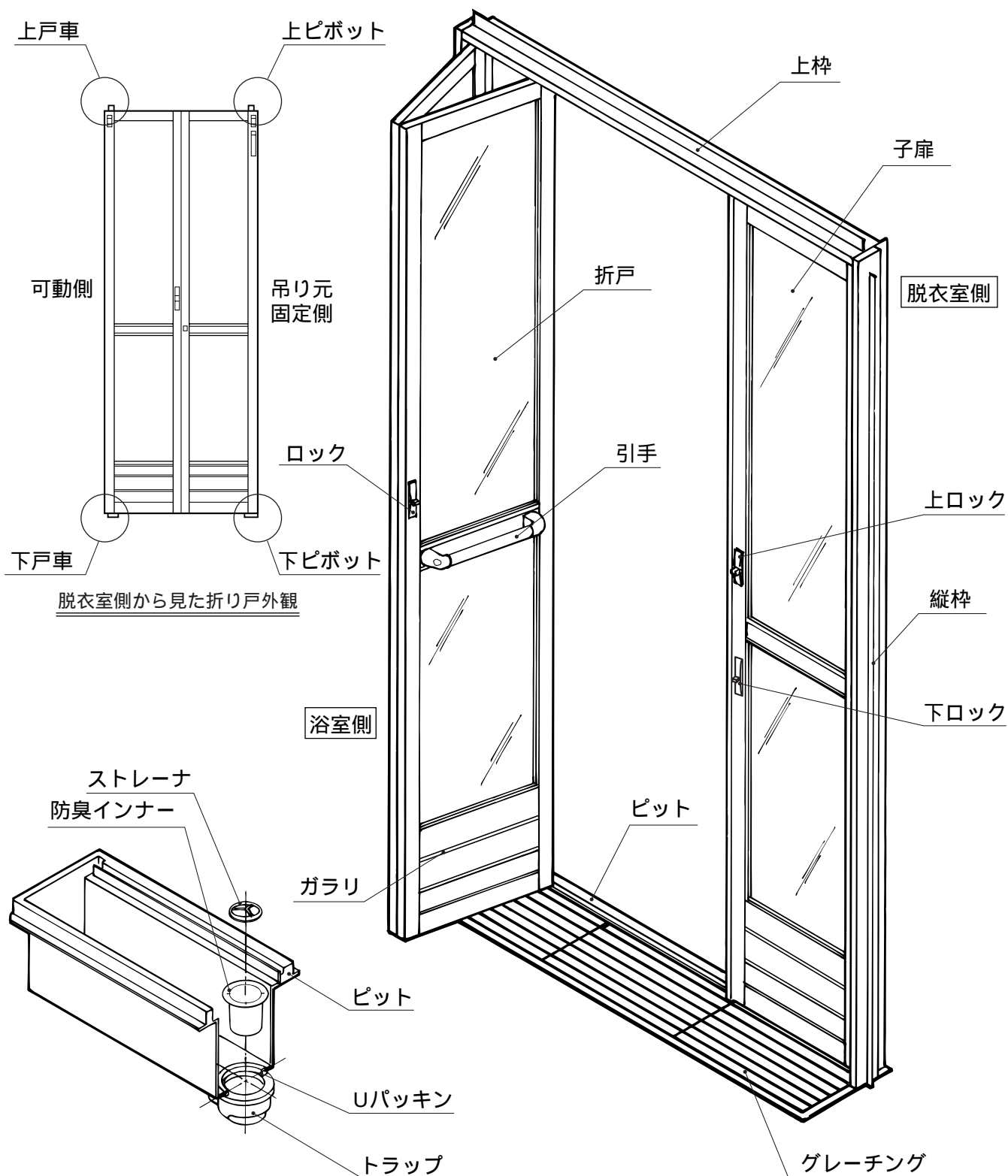
4 各部の名称

図はEWBS602L型（子扉が左側）の場合です。

EWBS602R型（子扉が右側）の場合は、折戸・子扉が左右逆勝手となります。

EWBS603型の場合は、子扉がありません。

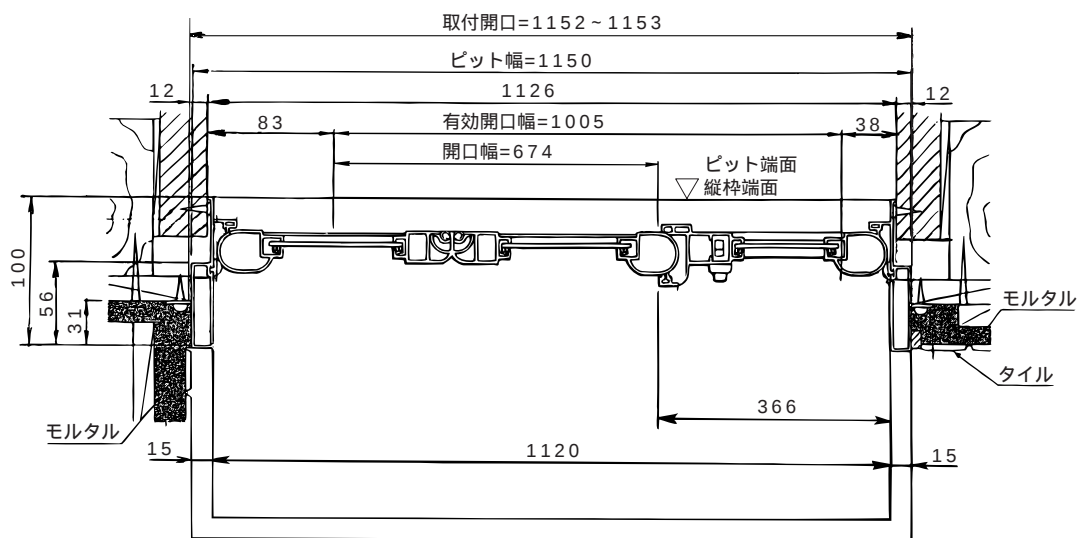
折戸は工場出荷時に右吊り元になっていますので、左吊り元にするには、上戸車と上ピボット、下戸車と下ピボットを、左右同時に入れ替えます。



5 建築への納まり（参考図）

EWBS602L/R型の場合

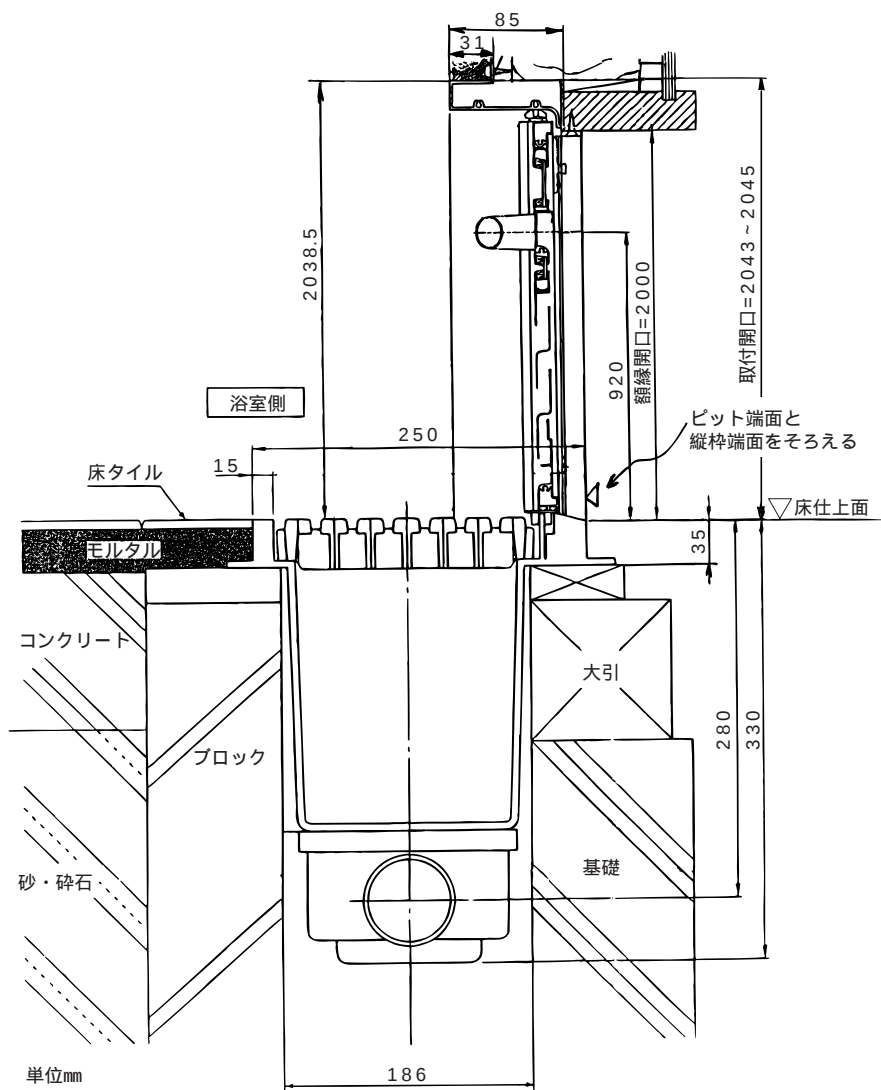
平面断面図



図はEWBS602L型の場合です。

浴室側

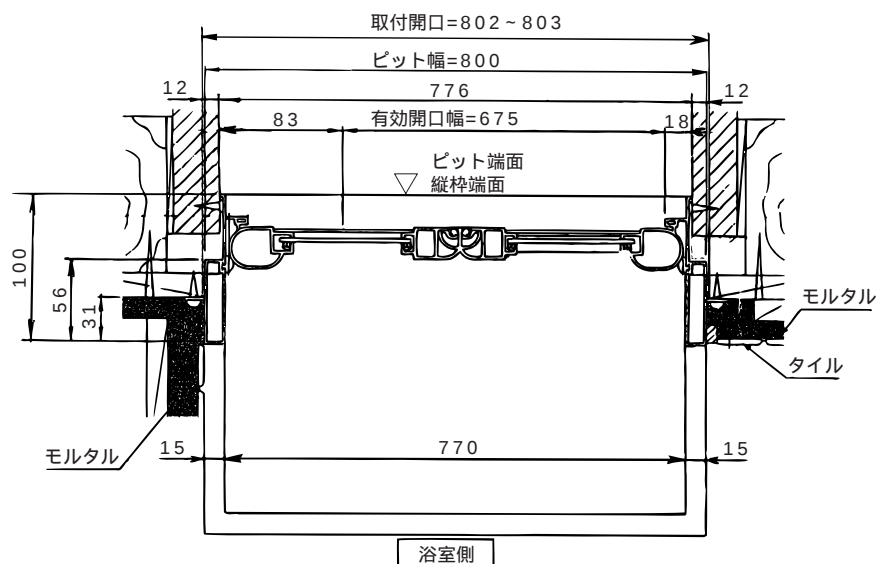
側面断面図



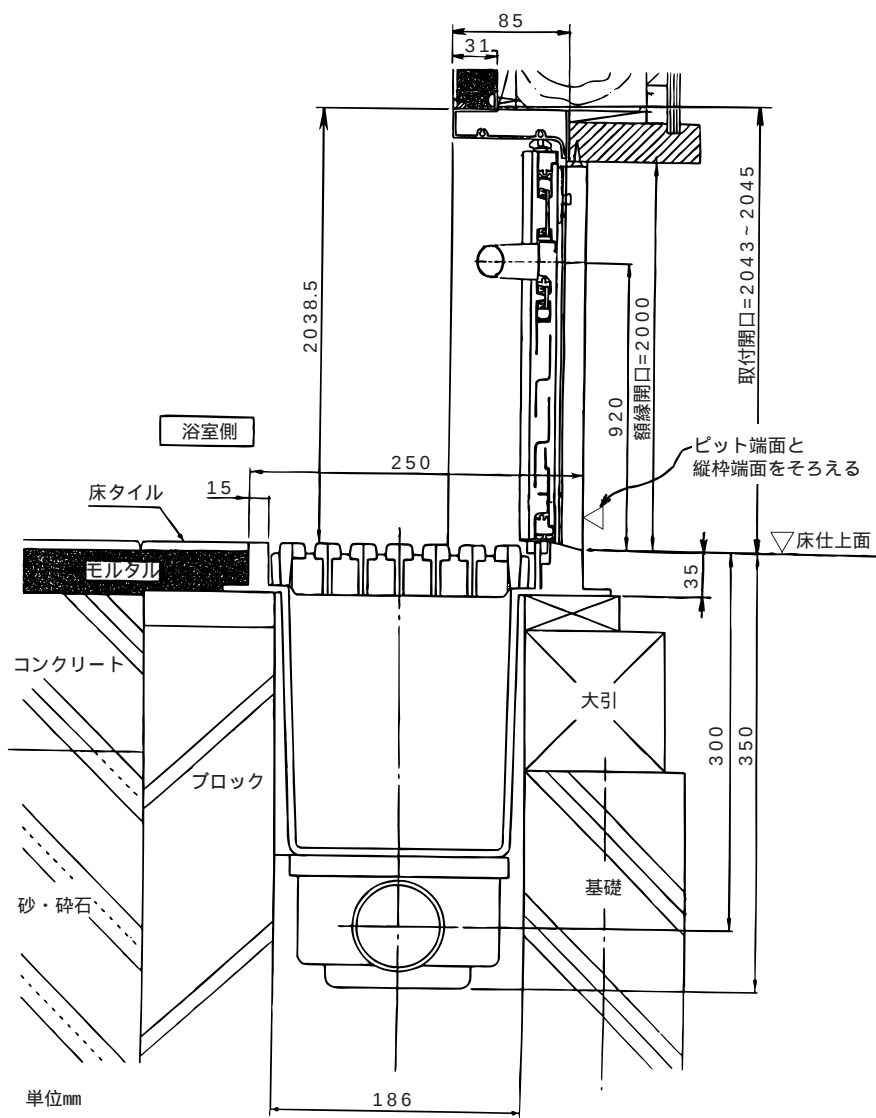
5 建築への納まり（参考図）

EWBS603R型 の場合

平面断面図



側面断面図



6 取付け前の準備

浴室内に、別途主排水を用意してください。

ピットを設置する前に、あらかじめ所定の位置に排水管を配管しておいてください。

脱衣所側の大引等には、防水シートの施工をおすすめします。

7 施工手順

1. ピットの取付け

墨出し～調整材の取付け

- ・墨出しを行い、ピット設置面が平らになるように調整材を大引きの上に取り付けます。

⚠ 注意



必ず実行

ピットの取付けは、必ずレベル出しをして傾きのないように取り付けてください。
ピットに傾きがあると水漏れの原因になります。

浴室側コンクリートブロックの取付け

- ・墨出しに従って、浴室側にコンクリートブロックを設置し、モルタル等で固定します。
 - 配水管の下準備を同時に行ってください。
- ・併せてモルタルでコンクリートブロック上面のレベル出しを行います。

⚠ 注意



必ず実行

ピットの取付けは、必ずレベル出しをして傾きのないように取り付けてください。
ピットに傾きがあると水漏れの原因になります。

排水トラップの取付け

- ・U字パッキンにシリコンを塗布し、ピットの排水口穴に取り付けます。
 - シリコンは現場手配です。

⚠ 注意



必ず実行

トラップの指示した部分に確実にシリコンを塗布してください。
塗布に不備があると、水漏れの原因となります。

- ・排水トラップ上面の2本の溝の中央にシリコンを塗布し、排水方向を所定の方向に向けて取り付けます。
 - シリコンは現場手配です。

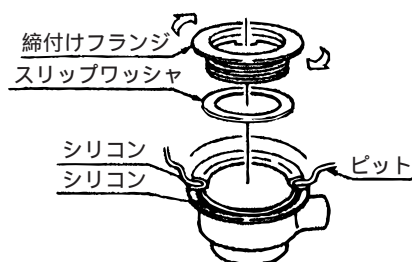
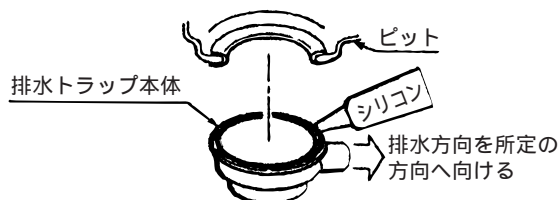
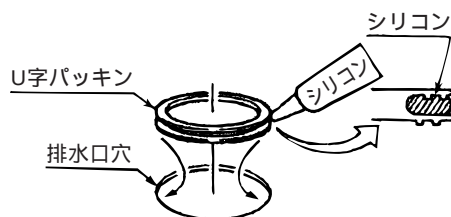
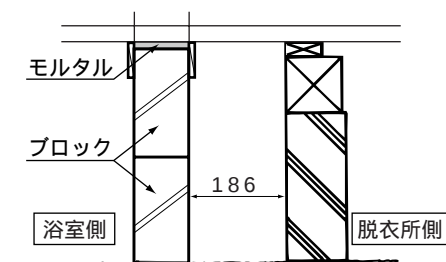
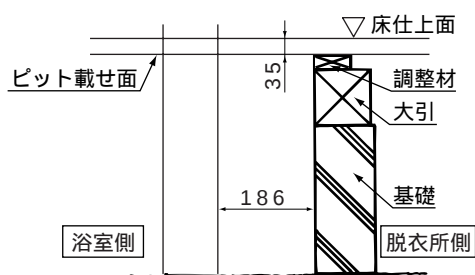
⚠ 注意



必ず実行

トラップの指示した部分に確実にシリコンを塗布してください。
塗布に不備があると、水漏れの原因となります。

- ・締付けフランジで締め付けます。



7 施工手順

1. ピットの取付け

- ・トラップとピットとの接合部にシリコンを塗布し、指で押さえつけます。
- ・シリコンは現場手配です。

⚠ 注意



必ず実行

トラップの指示した部分に確実にシリコンを塗布してください。
塗布に不備があると、水漏れの原因となります。

- ・防臭インナーとヘアキャッチャーを取り付けます。

配水管の接続

- ・配水管に接続剤を塗布し、排水トラップの排水口と配水管を接続します。
- ・接着剤は現場手配です。

⚠ 注意



必ず実行

配水管を排水トラップに接着剤を使って確実に接続してください。
接続に不備があると水漏れの原因になります。

ピットの設置～レベル調整

- ・墨出しに従ってピットを設置し、ピット上端が水平になるようにレベルを調整します。
- ・水準器を載せる場合は、ピットの浴室側リムに3mmのスペーサーを当ててください。

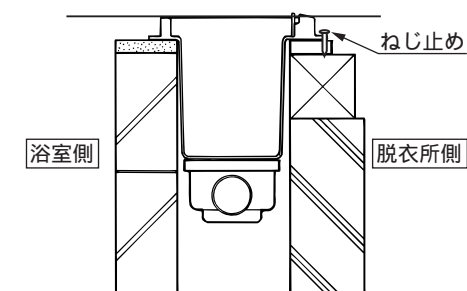
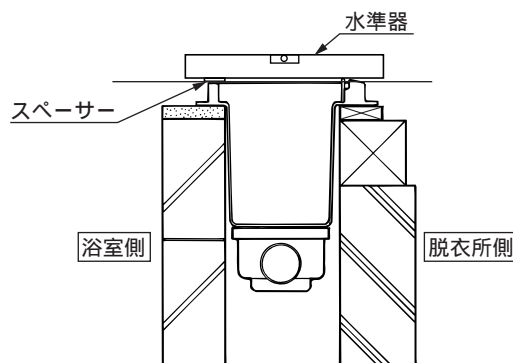
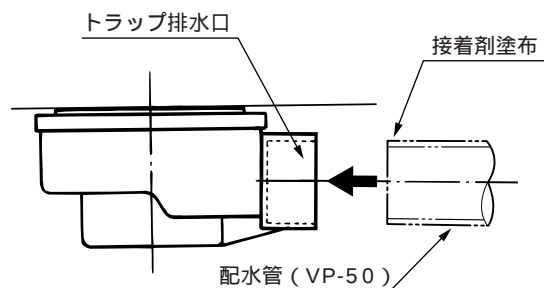
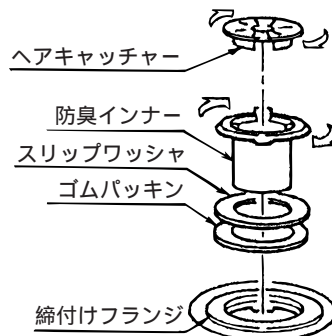
⚠ 注意



必ず実行

ピットの取付けは、必ずレベル出しをして傾きのないように取り付けてください。
ピットに傾きがあると水漏れの原因になります。

- ・ピットの脱衣所側フランジ部を本ねじで取り付けます。
- ・ピット取付けねじは現場手配です。
十字穴付丸木ねじ：3本 サイズ：3.5×16L
ピット下穴径：4



7 施工手順

2. 枠の取付け

取付け開口部を作る

- ・**5** 建築への納まりの項を参照し、商品の型式に合せて開口部を作ってください。

開口寸法 (mm)

型式	高さ	幅
EWBS 602型	2043 ~	1152 ~1153
EWBS 603型	2045	802 ~803

⚠ 注意



必ず実行

取付け面の寸法・水平・垂直を正しく調整してください。
寸法・水平・垂直の調整が正しくないと、水漏れの原因となります。

枠の組立て

- ・**小袋A**から枠組立てねじを取り出し、上枠と縦枠を**4**各部の名称の図や**5** 建築への納まりの図を参考に、方向を合せて組み立ててください。

⚠ 注意



必ず実行

枠組立てねじで、縦枠と上枠を正しく確実に組立ててください。
組立てに不備があると、水漏れの原因となります。

水密パッキンの取付け

- ・水密パッキンを**小袋A**から取り出し、はくり紙をはがしてください。
- ・水密パッキンを、接着面が浴室側に向くように縦枠上部から内側に差込んでください。
- ・水密パッキンがねじ穴を塞ぐことを確認し、縦枠上部から飛び出さない位置で縦枠の浴室側内壁に貼り付けてください。

⚠ 注意



必ず実行

水密パッキンを、縦枠上部浴室側に正しく確実に貼り付けてください。
貼り付けに不備があると、水漏れの原因となります。

ピットへのシリコン塗布

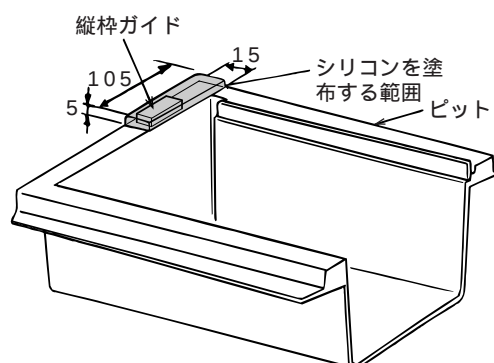
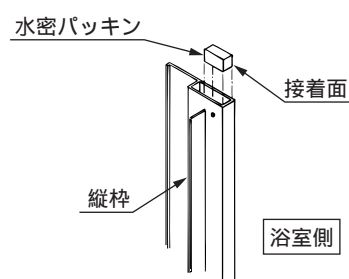
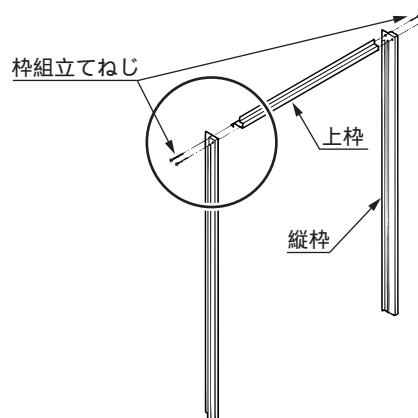
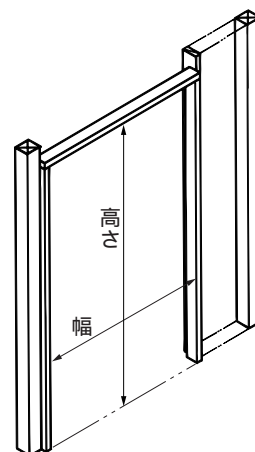
- ・ピットの縦枠ガイド部に、シリコンを塗布してください。
- ・シリコンは現場手配です。

⚠ 注意



必ず実行

指定した部分に確実にシリコンを塗布してください。シリコンが途切れたり塗布しない部分があると、縦枠とのシールが不完全となり水漏れの原因となります。



7 施工手順

2. 枠の取付け

枠の取付け

- ・ 枠を浴室側から開口部へ取り付けてください。
- ・ 枠をピットのガイド部へ位置を合せながら、はめ込んでください。

- 位置合せが正しくないと、折戸を取り付けられません。

枠の位置決め

- ・ 枠を所定の位置へすき間なく取り付けてください。
- ・ 高さ方向に対しても、ピット合せ面との間にすき間があかないように取り付けてください。

⚠ 注意



必ず実行

縦枠をピット上に正しく、すき間があかないように確実に位置決めしてください。
縦枠とピットにすき間があると、水漏れの原因となります。

枠の仮止め

- ・ 枠のネジレ、水平、垂直を調整しながら、枠固定ねじで仮止めしてください。
- 枠固定ねじは現場手配です。
十字穴付丸木ねじ：10本 サイズ：3.5×16L
- 枠と躯体の間にすき間があれば、カイ木を入れてください。

枠の固定

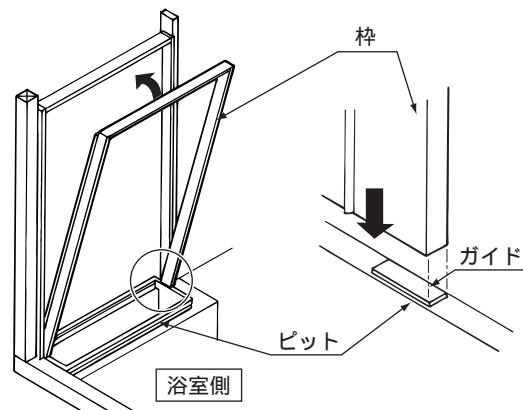
- ・ 枠を傾きのない様に、さげふり、水準器等で水平、垂直のレベル出しをして、枠固定ねじで確実に固定してください。

⚠ 注意



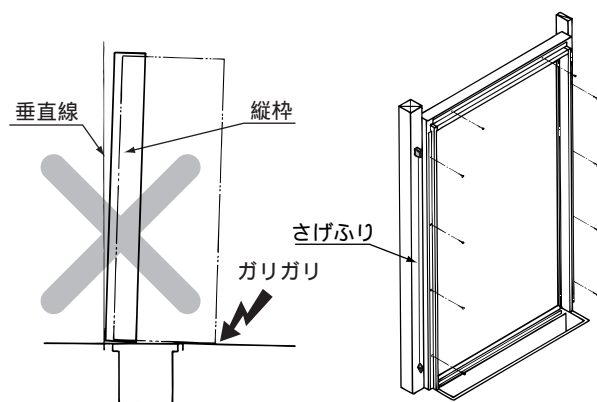
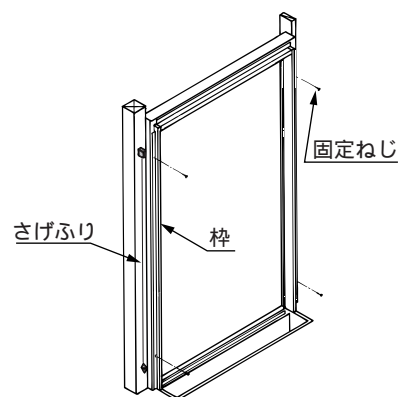
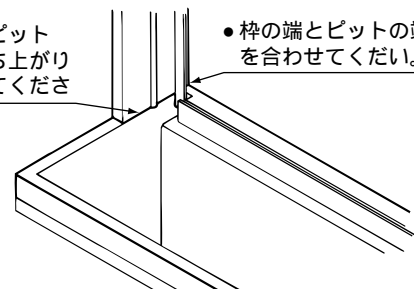
必ず実行

枠の水平、垂直が保たれるよう建築躯体側を調整してから、枠を固定してください。
水平、垂直が不十分だったり、正しく固定されないと、水漏れの原因となります。



- 枠の縦面とピットフランジ立ち上がり面をそろえてください

- 枠の端とピットの端を合わせてください。



- 浴室側に傾くと、床やグレーチングに当たするため、折戸が開かなくなります。

7 施工手順

2. 枠の取付け

シリコンコーキング

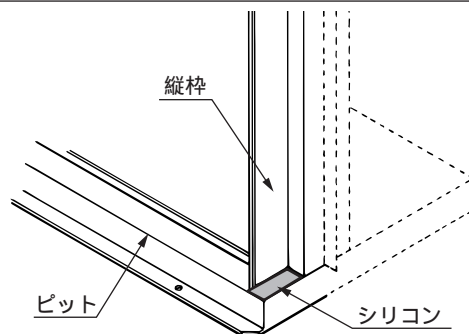
- ・縦枠とピットの接合部裏側にシリコンシールが出来ているか確認してください。
- ・シリコンシールが出来ていなければコーキングをしてください。

⚠ 注意



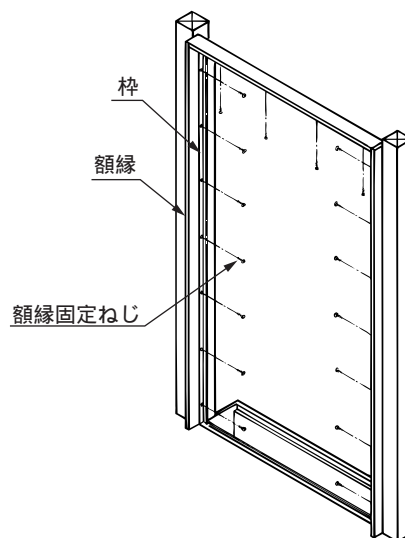
必ず実行

縦枠とピット接合部のシリコンコーキングは確実に行ってください。
コーキングに不備があると、水漏れの原因となります。



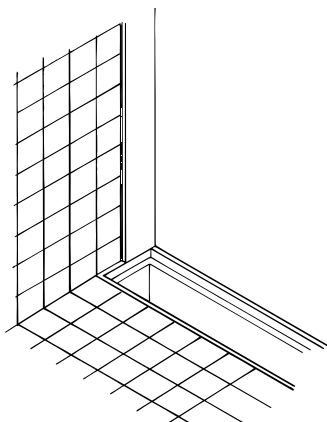
額縁の取付け

- ・額縁を取付け、**小袋B**に入っている額縁固定ねじで枠を固定してください。

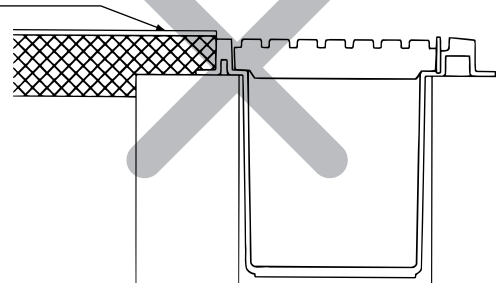


浴室工事・タイル左官工事

- ・枠、ピット周囲の壁、床を仕上げてください。



●タイル仕上面



- 床のタイル仕上面は、ピットより上にならないように仕上げてください。
- ピットより上になると、折戸が床に擦る不具合となります。

シリコンコーキング仕上げ

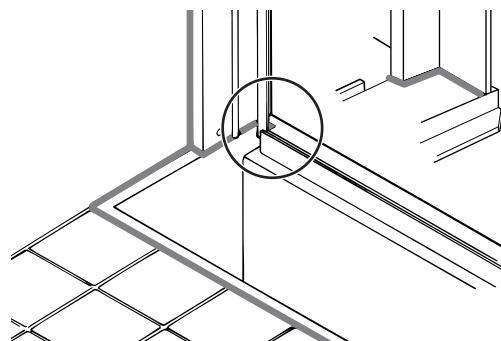
- ・枠、ピット周囲のすき間（目地）にシリコンでコーキングしてください。

⚠ 注意



必ず実行

枠、ピット周囲にシリコンを確実にコーキングしてください。
コーキングに不備があると水漏れの原因となります。

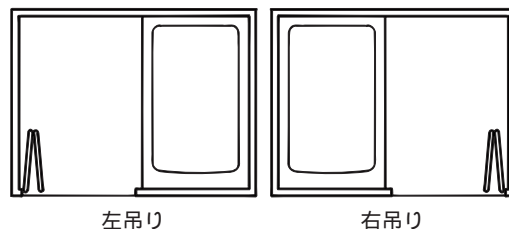


7 施工手順

3. 折戸の取付け

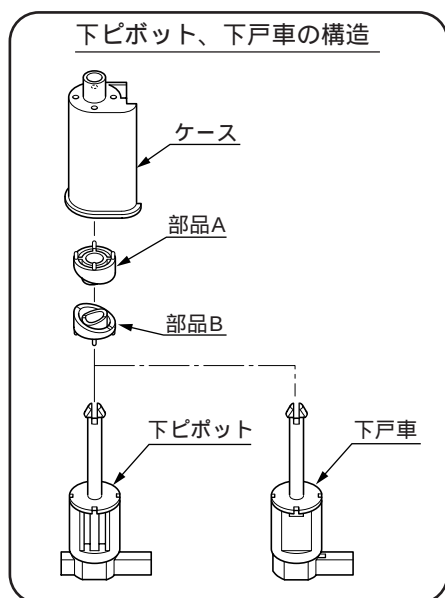
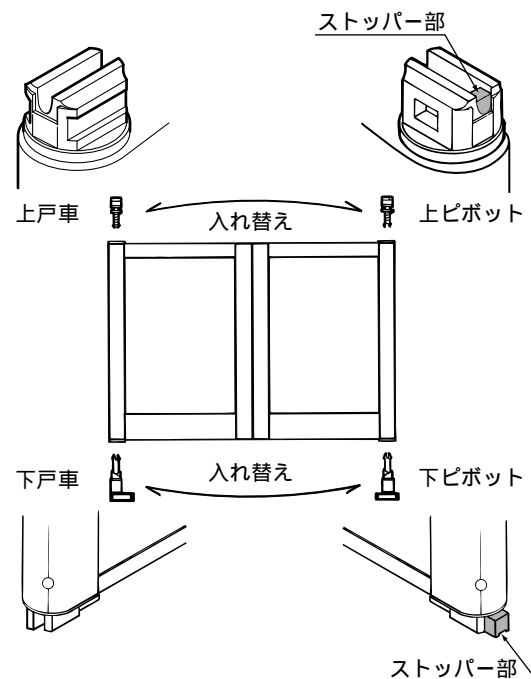
吊り元の確認

- ・折戸を設置する浴室の吊り元を確認します。
- ・工場出荷時は右吊り元仕様になっています。必要に応じて吊り元を変更します。



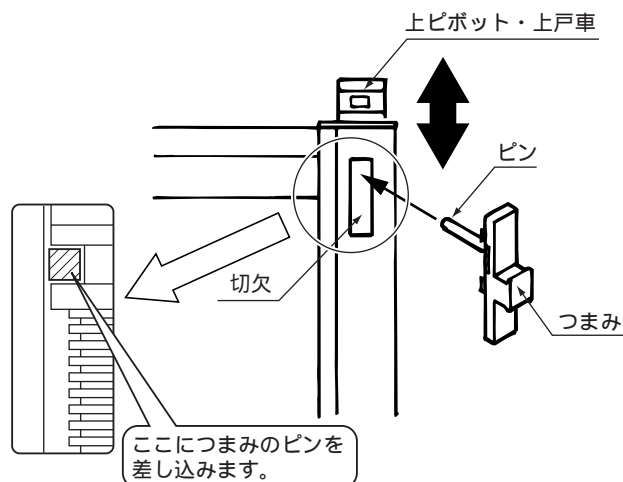
折戸の吊り元を変更するには

- ・上下のピボット、戸車を折戸から引き抜き、左右を入れ替えて取り付けます。
 - 上ピボット、戸車を引き抜く際、スプリングをなくさないように注意してください。
- ・下ピボット、下戸車を引き抜いた際に、部品A、Bが外れてしまった場合は、取付けの向きに注意して組み立ててください。
 - 向きを間違えると、ケースが破損し、折戸の開閉がしづらくなります。



つまみの取付け

- ・折戸の左右上部の切り欠きにつまみを押し込みます。
- ・つまみを上下に操作することにより、上ピボット、上戸車が上下に動くことを確認してください。

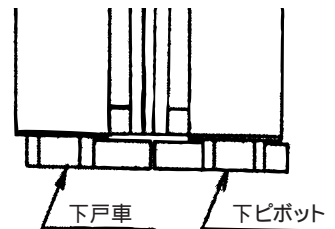


7 施工手順

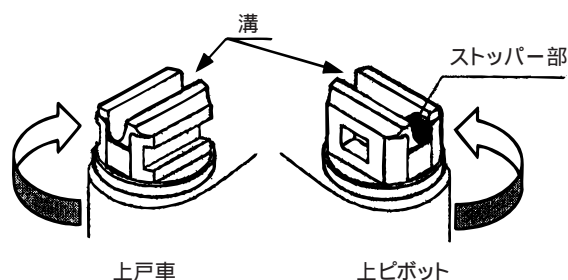
3. 折戸の組付け

折戸の建て込み

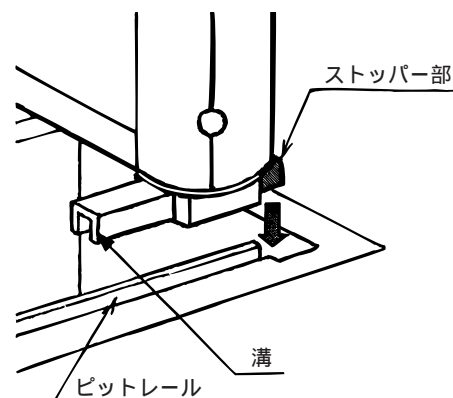
- ・折戸を折りたたみ、下ピボット、下戸車を向い合わせます。



- ・この時、上ピボットのストッパー部を吊り元側に向け、上戸車の溝を上枠と平行に回転させておきます。



- ・ピットレールの吊り元側の端部に下ピボットのストッパー部を引っかけながら、下戸車と共に溝をピットレールにはめ込みます。



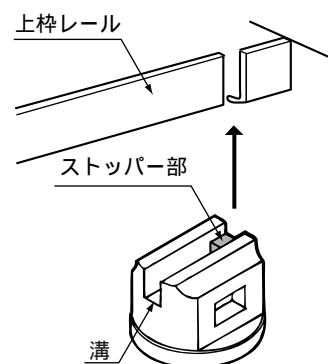
⚠ 注意



必ず実行

上下ピボットのストッパー部は、上枠レール、ピットレールに確実にはめ込んでください。確実ににはめ込まないと、折戸や子扉が外れて倒れ、けがをするおそれがあります。

- ・つまみを操作して上ピボット、戸車を引き下げ、上ピボットのストッパー部を上枠レールの切り欠きに引っかけながら、戸車と共に溝を上枠レールにはめ込みます。
- ・折戸の開閉により、上下のピボットが外れないことを確認します。



⚠ 注意



必ず実行

上下ピボットのストッパー部は、上枠レール、ピットレールに確実にはめ込んでください。確実ににはめ込まないと、折戸や子扉が外れて倒れ、けがをするおそれがあります。

7 施工手順

4. 子扉の取付け（EWBS602型の場合）

つまみの動作確認

- ・つまみを上下に操作することにより、上ピボットが上下に動くことを確認してください。

子扉の建て込み

- ・下ピボットを回転させて、子扉と直角方向に向けます。

- ・この時、上ピボットのストッパー部を吊り元側に向けておきます。

- ・ピットレールの吊り元側の端部に下ピボットのストッパー部を引っかけながら、溝をピットレールにはめ込みます。

⚠ 注意



必ず実行

上下ピボットのストッパー部は、上枠レール、ピットレールに確実にはめ込んでください。確実にはめ込まないと、折戸や子扉が外れて倒れ、けがをするおそれがあります。

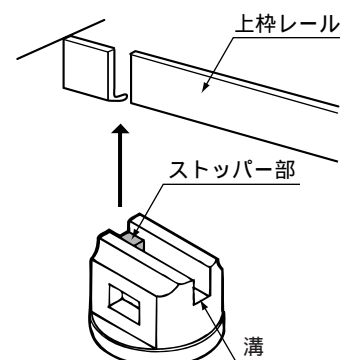
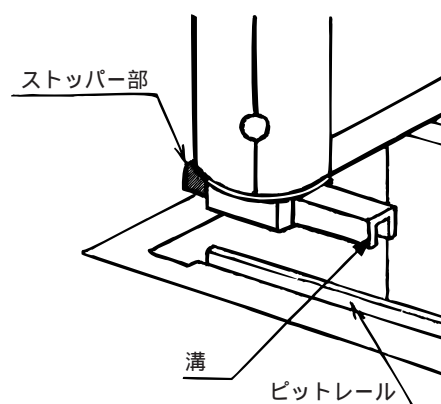
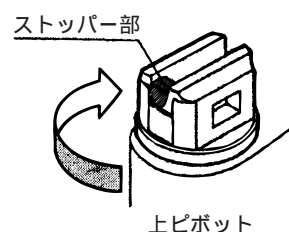
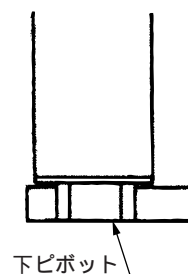
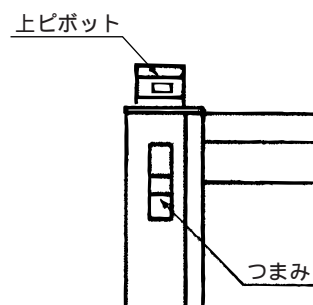
- ・つまみを操作して上ピボットを引き下げ、上ピボットのストッパー部を上枠レールの切り欠きに引っ掛け、溝を上枠レールにはめ込みます。
- ・子扉の開閉により、上下のピボットが外れないことを確認します。

⚠ 注意



必ず実行

上下ピボットのストッパー部は、上枠レール、ピットレールに確実にはめ込んでください。確実にはめ込まないと、折戸や子扉が外れて倒れ、けがをするおそれがあります。

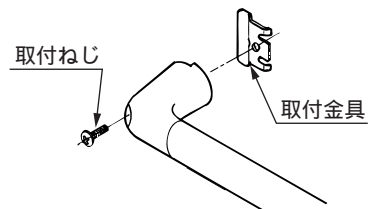


7 施工手順

5. 引手の取付け

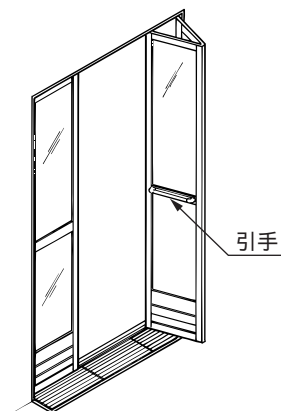
取付け部分の分解

- ・ 引手取り付け部は仮組みしていますので、取付けねじを緩めて、取付金具を外してください。
- ・ 取付け部は左右2箇所あります。



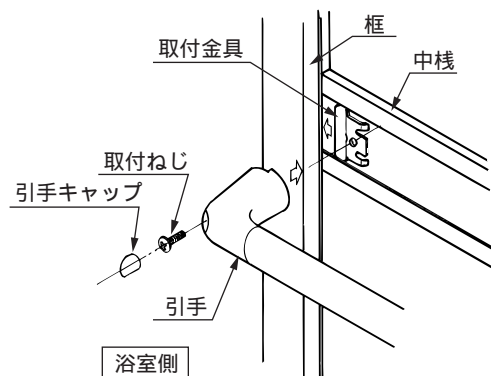
取付面の確認

- ・ 浴室側の折戸の開き側に引手を取り付けます。



引手の取付け

- ・ 取付金具を中棧と框とのすき間に差込み、引手を取付ねじで取り付けてください。
- ・ 取り付け後、引き手キャップをはめ込んでください。

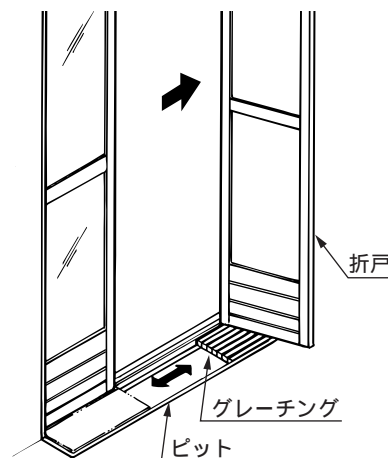
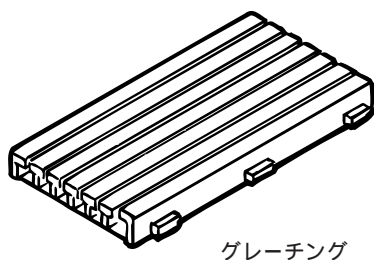


6. グレーチングの取付け

- ・ ピットにグレーチングを取り付けてください。

ポイント

- 折戸を開けた状態で、ピットの中央に一旦グレーチングを置き、横にスライドさせると楽に取り付けられます。

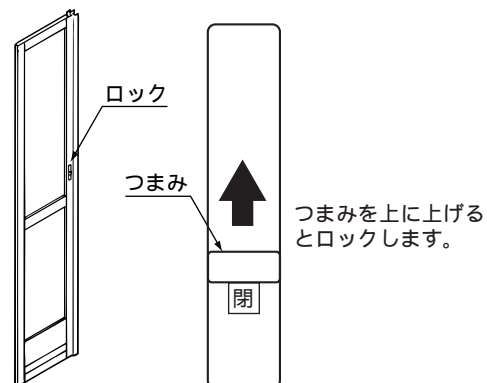


8 施工後の確認

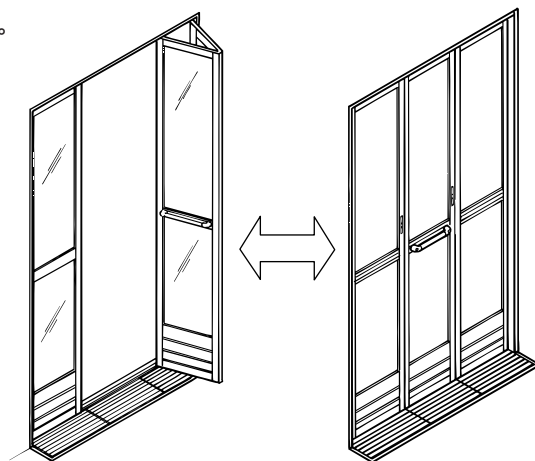
1. 扉の建付け確認

子扉を閉め、ロックをかけてください。

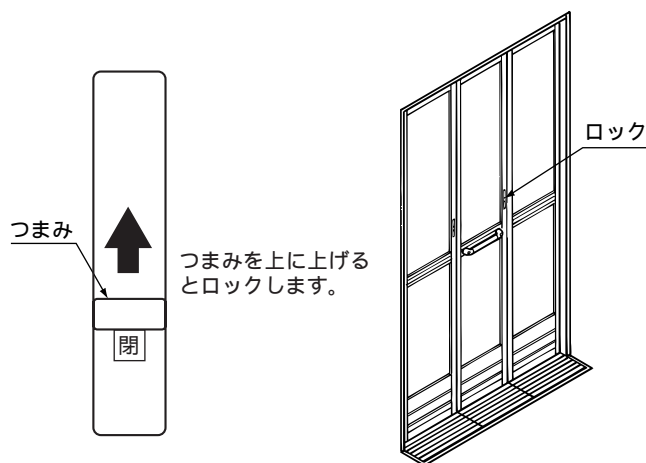
EWBS602型の場合のみ



折戸の開け閉めを2～3回して、建付けを確認してください。



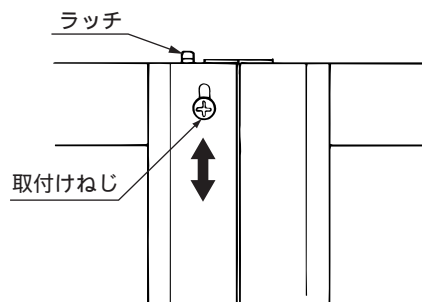
折戸を閉め、ロックがかかるか確認してください。



ラッチ部の調整

・ラッチは調整済みですが、調整が必要な場合は取付けねじを緩めて、上下に移動してください。
(取付位置移動範囲は6mmです)

- 折戸が閉まりきらない場合は下側へ移動させる。
- 折戸を閉めても、換気扇作動時などに開く場合は上側へ移動させる。



8 施工後の確認

2. 施工後の検査

- 取付工事が完了しましたら、施工後の検査をしてください。

	チェックポイント	チェック	対処
1	折戸又は子扉を開閉した時に、外れることはありませんか？		・上ピボットは、上枠レールの切欠き部に上ピボットのストッパー部を確実にはめてください。 施工手順 7—3— 7—4— ・下ピボットは、ピットレール端部に下ピボットのストッパー部を確実に引っかけてください。 施工手順 7—3— 7—4—
2	引手はがたついていませんか？		・引手の取付ねじを締め直してください。 施工手順 7—5
3	折戸を閉めても、自然に開くことはありませんか？ 逆に、折戸が閉まりきれないことはありませんか？		・ラッチ部の調整をしてください。 施工手順 8—1—
4	シリコンコーキングは、途切れなく確実に施工できていますか？		・すき間を残さないように、再度コーキングをしてください。 施工手順 7—2—
5	折戸の動きが悪いことはありませんか？ 子扉の動きが悪いことはありませんか？		・上ピボットは、上枠レールの切欠き部に上ピボットのストッパー部を確実にはめてください。 施工手順 7—3— 7—4— ・下ピボットは、ピットレール端部に下ピボットのストッパー部を確実に引っかけてください。 施工手順 7—3— 7—4— ・下ピボットと下戸車の差込み、構成部品の取付けの向きを正しく合せてください。 ・戸車ケースが破損している場合は、ケースを交換してください。 施工手順 7—3—
6	つまみを下方向へ下げる事で、折戸、子扉を外す事ができますか？		・つまみの方向を合せて、切り欠き部に確実に取り付けてください。 施工手順 7—3— 7—4—

MEMO

MEMO

MEMO
